

セメント系無収縮モルタル(グラウト用)

# サンベスト Type-A

サンベスト Type-A は、特殊混和材を用いたセメント系無収縮グラウトモルタルです。プレミックスタイプのため、水を加えて所定の機器で練混ぜるだけで品質の安定した流動性の高いグラウト材が得られ、施工性の向上に寄与します。また、NEXCO 試験方法 312 による試験および凍結融解試験の評価を外部試験機関にて行い、所定の数値を満足することを確認しています。



荷姿：25 kg/袋

## 特長

### 高流動性

流動性に優れているため、複雑な形状、狭い隙間の隅々まで充填することができます。

### 優れた強度特性

安定した強度発現が得られます。

### 低収縮性

ブリーディングが無く、体積収縮がほとんどありません。

### 品質安定性

セメント・砂・混和剤をプレミックスしたことにより、現地では水と練混ぜるだけで安定した品質のモルタルを得られることができます。

### 凍結融解抵抗性

凍結融解抵抗性に優れているため、寒冷地での施工にも対応可能です。



床版下の鋼桁間を模擬した試験体(延長 2.5m 幅 0.4m 隙間 30mm)にサンベストを充填



写真-1 流動性および充填性確認試験

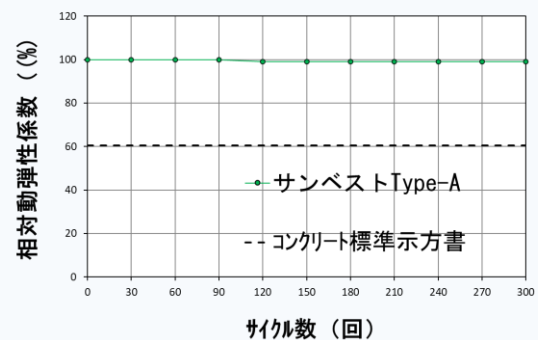


図-1 凍結融解試験結果

## 適用箇所

### 床版鋼桁間空隙充填

### プレキャスト壁高欄充填

### 橋脚耐震補強鉄板巻き立て空隙充填

### 構造物基礎充填



写真-2 床版下鋼桁間空隙充填状況

## 標準配合

1袋当たりの標準配合		練上がり量	1m <sup>3</sup> 当たりの標準使用量	
Type-A	水		Type-A	水
25kg/袋	4.5kg	13.4ℓ/袋	75袋	338kg

## 物性値

表-1 物性値確認項目

項目	試験方法	規格値
コンシステンシー	JA <sub>14</sub> 漏斗:NECO試験方法312.3.2 JSCE-F541に準ずる	8±2秒
	テーブルフロー:JASS15M-103に準ずる(測定用容器サイズφ50×100mm)	-
ブリーディング率	NECO試験方法312.3.3に準ずる JIS A 1123に準ずる	2%以下
膨張収縮	NECO試験方法312.3.4に準ずる JSCE-F542に準ずる	材齢7日で収縮無し
凝結時間	NEXCO試験方法312.3.5に準ずる JIS A 1147に準ずる	始発1時間以上 終結10時間以内
圧縮強度試験	NEXCO試験方法312.3.7に準ずる JIS A1108に準ずる JSCE-G 505-1999 JSCE-F-506-2010に準ずる	材齢3日 25N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢28日 45N/mm <sup>2</sup> 以上
付着強度試験	NEXCO試験方法312.3.7に準ずる JSCE-G503に準ずる	材齢28日 3N/mm <sup>2</sup> 以上
凍結融解試験	JIS A 1148-A法に準ずる	-

表-2 試験結果 1

試験温度 (°C)	水量 (kg)	ブリーディング率 (%)	膨張収縮 (%)		凝結時間 (時間-分)		圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )				付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )
			24時間後	7日後	始発	終結	1日	3日	7日	28日	28日
5.0	4.7	0	-	-	10-40	15-30	3.0	27.0	41.0	50.0	-
20	4.5	0	0.40	0.41	5-30	7-10	24.0	44.0	55.0	62.0	3.3
30	4.5	0	-	-	3-40	4-30	35.0	51.0	61.0	66.0	-

表-3 試験結果 2 (凍結融解試験)

項目	サイクル数										
	0	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300
相対動弾性係数 (%)	100	100	100	100	99	99	99	99	99	99	99
質量減少率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※試験結果は、あくまで測定例結果です。**本材料を保障する値ではありません。**

## 施工上の注意点

- 練混ぜ水量は、材料温度、環境温度、ミキサー形式、練混ぜ量などにより変化しますので、あらかじめ試験練りを行ってください。水量範囲は、4.25~4.75ℓです。(標準水量 4.5ℓ/袋)
- 練上がり温度は、10~30℃となる範囲としてください。
- 練混ぜは、右図の練混ぜ方法に従ってください。
- 練混ぜは、ハンドミキサ(500rpm以上 アルミ材質の攪拌羽根使用不可)を使用してください。
- 充填は、予め充填箇所の埃等を除去、水湿し後に充填を行ってください。
- 充填は、自重圧とし連続的に充填してください。
- 施工後は、シート等で覆い湿潤状態で養生してください。

### Type-A 練混ぜ方法

① 練混ぜ容器に練混ぜ水投入する。

② 練混ぜ水を攪拌、粉体を徐々に投入する。

③ 粉体を全量投入後、2分間程度攪拌する。



販売元 **FATEC** 株式会社 ファテック

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町 2-1

TEL: 03-3235-6269 FAX: 03-5261-9066

製造元 **秩父コンクリート工業株式会**

〒110-0005 東京都台東区上野 7-7-6

TEL: 03-3844-5062 FAX: 03-3844-5087